



ななつかの風～

畜産技術センターニュース

発行事務局
● 広島県立総合技術研究所
畜産技術センター技術支援部
〒727-0023
庄原市七塚町584番地
TEL 0824-74-0331
FAX 0824-74-1586

● 平成25年度第3回新技術セミナー開催！

平成25年度第3回新技術セミナー（繁殖技術移転セミナー）が、平成26年2月18日に、当技術センターで開催されました。

県内から、大規模酪農家、農業共済組合連合会家畜診療所、西部・東部・北部畜産事務所、畜産課などで、第一線で活躍されている方々、11人が参加されました。

技術内容

（1）体内採卵技術

牛の子宮の触診や、子宮内の受精卵を特殊な液で洗い流し体外に回収する採卵技術の実習を行いました。

（2）受精卵の処理技術

体内から回収した液体中の受精卵を見つける技術や、受精卵の凍結技術（緩慢凍結法、ガラス化凍結法）の実習を行いました。



子宮触診実習



検卵実習



受精卵回収実習

今回の新技術セミナーに対するアンケートを取ったところ、「実習牛を用いて段階的に体得でき、非常にわかりやすい良い試みです」、「広島県種雄牛の利用拡大のために、ぜひ現場での活用を進めたい」、「受精卵技術は県として継承して行ってほしい技術なので、身に付けたい」などの意見や、複数回の開催や多くの人の参加を望む声がありました。

● 畜産技術センター成果発表会のお知らせ！

平成25年度総合技術研究所畜産技術センターの
成果発表会を開催します。

本年度のテーマは、

『広島県産和牛の新たな展開に向けて』 ～ 産学官連携による広島県産和牛振興 ～



- 1 日時 平成26年3月4日（火）13:00～16:00
- 2 場所 県立広島大学 庄原キャンパス 大講義室
(庄原市七塚町562 Tel0824-74-1000)
- 3 内容

(1) 基調講演 (13:10～13:30)

演 題：「2020広島県農林水産業チャレンジプラン」をベースにした将来展開

講 師：広島県農林水産局畜産課 参事 吉川 栄浩 氏

内 容：広島県産和牛の生産構造改革を主体に、規模拡大、新規参入、耕畜連携を通じた生産基盤の強化、市場競争力強化による増頭対策について説明。

(2) 成果発表 (13:30～14:20)

「広島県産和牛の新たな魅力構築に向けて」

バイヤー、消費者のアンケート調査を通じ、広島県産和牛の評価項目を探る。

| 表題 | 内容 | 発表者 | 時間 |
|-------------------------|---|----------------------------------|--------|
| 県産和牛のブランド形成に有効な品質項目について | 小売業者・消費者アンケートの結果から見てきた「望まれる牛肉の品質」について紹介。 | 県立広島大学 生命環境学部 准教授 村田 和賀代 | 13:30～ |
| ブランド化に向けた今後の研究開発の展開について | アンケート調査で明らかとなった「望まれる品質の県産和牛」生産の実現可能性について紹介。 | 畜産技術センター 育種繁殖研究部 研究員 山崎 瑞穂 | 13:55～ |

(3) 特別講演 (14:20～15:00)

演 題：牛肉の「おいしさ」の構成要素 ～但馬牛をベースにして～

講 師：兵庫県立農林水産技術総合センター

北部農業技術センター畜産部 研究主幹 岡 章生 氏

内 容：但馬牛を対象に、牛肉の美味しさに関連するとされる成分のうち、脂肪酸組成、アミノ酸組成、イノシン酸含量と血統、肥育方法との関連について食味試験（官能評価）を通じて解析した結果を紹介。

(4) 総合討論 (15:00～15:30)

広島県産和牛の新たな魅力構築に向けた取組のあり方について参加者と討論。

(5) ポスターセッション (15:30～16:00)

平成25年度実施した研究開発や技術支援の成果を説明。

編集後記：

2月も後半に突入です。1月はいぬる、2月はにげる、3月はさる で、この3ヶ月はなにかと行事が立て込み、忙しい。しかも、4月はさっさとくる。・・・SS